

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産研究費

事 業 名 【新】酪農研究部ミルクパーラー改修工事

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産研究所 電話番号：0577-68-2226

E-mail：c24509@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,276 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,276	0	0	0	0	0	0	0	1,276
決定額	0	0	0	0		0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

畜産研究所酪農研究部の主要施設であるミルクパーラー搾乳システム機器（酪農牛の搾乳を行う施設）については、平成7年に建設されてから26年が経過している。搾乳は、1日2回行うことが必須の作業であり、近年は、経年劣化や乳脂肪分が詰まるなどによる不具合が頻発しており、常時の安定した搾乳業務に支障があることが頻繁に起こっており、その都度、一部修繕にて対応している。

(2) 事業内容

畜産研究所酪農研究部のミルクパーラー搾乳システム機器改修について令和6年度当初予算により実施設計費等を計上し、令和7年度に工事費等を計上する。

・実施設計委託費 1,276千円

(3) 県負担・補助率の考え方
・県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,276	ミルクパラー搾乳システム機器改修工事を実施するための設計委託料
合計	1,276	

決定額の考え方

既定経費で対応することとし、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
県有施設中長期保全計画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
畜産研究所酪農研究部の主要設備機器であるミルクパーラー搾乳システム機器について、令和7年度において大がかりな改修工事を実施したい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①設計委託				1		
②工事					1	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今回要求の設備や牛舎を始めとする各種の施設、農機具及び備品等が老朽化してきており、飼養管理に支障を来す場合も生じていることから、計画的な改修・更新が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 畜産研究所酪農研究部における施設機器の維持管理整備は、酪農牛の安全な飼養管理を実施するため及び安全、安心な生乳供給や胚供給に資するための研究を継続するために必要不可欠であることから、着実に事業を進める。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

【〇〇課】